

令和5年度 事業報告書

(自) 令和 5 年 4 月 1 日

(至) 令和 6 年 3 月 3 1 日

社会福祉法人笠間市社会福祉協議会

目 次

I. 法人運営事業

1. 理事会・評議員会の開催及び監査の実施報告.....	2
2. 委員会の開催報告	4
3. 社協会員（一般・特別・法人）の加入推進報告.....	4
4. 連絡調整	5
5. 広報啓発活動の報告	5

II. 地域福祉事業

6. 支部地区社協活動推進事業	5
7. 低所得者福祉	6
8. 法人後見受任事業	7
9. 心配ごと相談所の運営報告	7
10. ボランティアセンター事業報告	8
11. 共同募金配分事業報告	13
12. 善意銀行の運営報告	16
13. 福祉バス利用状況報告	17

III. 受託事業

14. 地域ケアシステム推進事業	17
15. 生活福祉資金貸付事業	19
16. フォローアップ支援事業	19
17. 生活困窮者自立相談支援事業	19
18. 日常生活自立支援事業	20
19. 在宅福祉サービスセンター事業	21
20. 養育支援訪問事業	21
21. 在宅重度身体障害者訪問入浴サービス事業.....	22
22. 移動支援事業	22
23. 手話奉仕員養成講座	22

IV. 指定管理業務

24. 地域福祉センター事業の経営	22
-------------------------	----

V. 障害者就労継続支援B型事業

25. 障害者就労継続支援B型事業	23
-------------------------	----

VI. 介護予防・日常生活支援総合事業

26. 通所型サービス「いきいき通所事業」.....	24
27. 訪問型サービス「ふれあいサポート事業」.....	24
28. 生活支援体制整備事業	24

VII. 介護保険事業・障がい福祉サービス事業

29. 居宅介護支援事業	27
30. 訪問介護事業	27
31. 訪問入浴介護事業	28
32. 居宅介護事業（ホームヘルプ事業）.....	28

I. 法人運営事業

1. 理事会・評議員会の開催及び監査の実施報告

(1) 理事会

理事会は、法人の業務決定及び意思決定の機関並びに評議員選任の同意機関で、法人の中心となる会議です。

理事の合議体である理事会において法人の経営方針を立て、事業計画や予算等の法人の重要事項の方針決定に参画しました。

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会 場	参加者
5. 6. 14	第1回理事会	議案第1号 社会福祉法人笠間市社会福祉協議会職員就業規程の一部改正(案)について 議案第2号 社会福祉法人笠間市社会福祉協議会職員給与規程の一部改正(案)について 議案第3号 社会福祉法人笠間市社会福祉協議会嘱託職員就業規程の一部改正(案)について 議案第4号 令和4年度社会福祉法人笠間市社会福祉協議会事業報告及び収支決算について 議案第5号 令和5年度第1回評議員会の招集事項について 業務報告 会長の職務執行状況の報告について	地域福祉センター ともべA館	10
6. 29	第2回理事会	議案第6号 社会福祉法人笠間市社会福祉協議会会長及び副会長の選定について 議案第7号 社会福祉法人笠間市社会福祉協議会評議員候補者の推薦について 議案第8号 社会福祉法人笠間市社会福祉協議会苦情解決第三者委員の選考について	地域福祉センター ともべA館	10
6. 1. 22	第3回理事会	報告第1号 社会福祉法人笠間市社会福祉協議会非常勤職員就業規程の一部改正について 議案第9号 令和5年度社会福祉法人笠間市社会福祉協議会補正予算(第1号)(案)について 議案第10号 社会福祉法人笠間市社会福祉協議会職員給与規程の一部改正(案)について 議案第11号 社会福祉法人笠間市社会福祉協議会嘱託職員就業規程の一部改正(案)について 議案第12号 社会福祉法人笠間市社会福祉協議会評議員候補者の推薦について 議案第13号 令和5年度第2回評議員会の招集事項について 業務報告 会長の職務執行状況の報告について	地域福祉センター ともべA館	10
3. 19	第4回理事会	議案第14号 社会福祉法人笠間市社会福祉協議会指定特定相談支援事業所運営規程(案)の制定について 議案第15号 社会福祉法人笠間市社会福祉協議会定款の一部変更(案)について 議案第16号 社会福祉法人笠間市社会福祉協議会非常勤職員就業規程の一部改正(案)について 議案第17号 社会福祉法人笠間市社会福祉協議会嘱託職員就業規程の一部改正(案)について 議案第18号 社会福祉法人笠間市社会福祉協議会職員の育児・介護休業及び育児短時間勤務等に関する規程の一部改正(案)について 議案第19号 令和6年度社会福祉法人笠間市社会福	地域福祉センター ともべA館	10

		祉協議会事業計画(案)について 議案第20号 令和6年度社会福祉法人笠間市社会福祉協議会予算(案)について 議案第21号 役員等賠償責任保険契約締結について 議案第22号 令和5年度第3回評議員会の招集事項について 業務報告 会長の職務執行状況の報告について		
--	--	---	--	--

(2) 評議員会

重要事項に関して意見を述べる諮問機関であり、理事のけん制機能を担う機関が評議員会です。

評議員会は、法人経営に直接携わる理事とは異なる立場から意見を述べることで、より良い法人の業務運営に資するよう努めました。

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会 場	参加者
5. 6. 29	第1回評議員会	議案第1号 社会福祉法人笠間市社会福祉協議会職員就業規程の一部改正(案)について 議案第2号 社会福祉法人笠間市社会福祉協議会職員給与規程の一部改正(案)について 議案第3号 社会福祉法人笠間市社会福祉協議会嘱託職員就業規程の一部改正(案)について 議案第4号 令和4年度 社会福祉法人笠間市社会福祉協議会事業報告及び収支決算について 議案第5号 社会福祉法人笠間市社会福祉協議会理事の選任について 議案第6号 社会福祉法人笠間市社会福祉協議会監事の選任について	地域福祉センターともべA館	11
6. 1. 31	第2回評議員会	報告第1号 社会福祉法人笠間市社会福祉協議会非常勤職員就業規程の一部改正について 議案第7号 令和5年度社会福祉法人笠間市社会福祉協議会補正予算(第1号)(案)について 議案第8号 社会福祉法人笠間市社会福祉協議会職員給与規程の一部改正(案)について 議案第9号 社会福祉法人笠間市社会福祉協議会嘱託職員就業規程の一部改正(案)について	地域福祉センターともべA館	9
3. 27	第3回評議員会	議案第10号 社会福祉法人笠間市社会福祉協議会指定特定相談支援事業所運営規程(案)の制定について 議案第11号 社会福祉法人笠間市社会福祉協議会定款の一部変更(案)について 議案第12号 社会福祉法人笠間市社会福祉協議会非常勤職員就業規程の一部改正(案)について 議案第13号 社会福祉法人笠間市社会福祉協議会嘱託職員就業規程の一部改正(案)について 議案第14号 社会福祉法人笠間市社会福祉協議会職員の育児・介護休業及び育児短時間勤務等に関する規程の一部改正(案)について 議案第15号 令和6年度社会福祉法人笠間市社会福祉協議会事業計画(案)について 議案第16号 令和6年度社会福祉法人笠間市社会福祉協議会予算(案)について	地域福祉センターともべB館	11

(3) 監査

理事の業務執行及び法人の財産状況について毎年、定期的な監査をし監査報告を行います。また、理事の業務執行、法人の財産状況に対する意見を表明しました。

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会 場	参加者
5. 5. 19	定例監査	(1) 令和4年度社会福祉法人笠間市社会福祉協議会事業及び収入支出決算監査について (2) 令和4年度社会福祉法人茨城県共同募金会笠間市共同募金委員会事業及び収入支出決算監査について	地域福祉センターともべA館	2
12. 11	中間監査	(1) 令和5年度社会福祉法人笠間市社会福祉協議会事業及び収入支出状況について（令和5年4月から9月分）	地域福祉センターともべA館	2

2. 委員会の開催報告

(1) 広報委員会の開催（かさま社協だより）

発行月	事業概要（会議事項）	会 場	参加延人数
5. 8月	51号発行（編集、原稿校正 計5回）	地域福祉センターともべA館	47
12月	52号発行（編集、原稿校正 計5回）	地域福祉センターともべA館	48
6. 4月	53号発行（編集、原稿校正 計5回）	地域福祉センターともべA館	48

(2) 広報委員交流会の開催

開催日	事業概要（会議事項）	会 場	参加延人数
6. 2. 29	ボッチャ大会・昼食交流会	地域福祉センターともべA館	25

3. 社協会員（一般・特別・法人）の加入推進報告

市民の皆さまからの会費は、すべて本会が実施する地域福祉活動に充てられます。

会員となっていただくことで「誰もが安心して暮せる福祉のまちづくり」に参加する仕組みとなります。

(1) 会員区分

法人会員3,000円以上、特別会員3,000円以上、一般会員1,000円以上

地区別会費額

単位：円

地 区	法 人	特 別	一 般	合 計
笠 間	266,000	44,000	5,899,000	6,209,000
友 部	936,000	704,000	8,200,500	9,840,500
岩 間	541,000	56,000	2,579,500	3,176,500
合 計	1,743,000	804,000	16,679,000	19,226,000

(2) 地区別還元金及び広報助成金

単位：円

地 区	還 元 金	広報助成金	合 計	備 考
笠 間	1,752,000	167,050	1,919,050	9支部・3地区
友 部	4,915,250	443,275	5,358,525	6支部
岩 間	637,500	0	637,500	9地区
合 計	7,304,750	610,325	7,915,075	

※広報助成金は、年2回以上広報紙を発行した支部（後期助成時）に助成しました。

4. 連絡調整

関係機関、関係団体との連絡調整を図りました。

- (1) 県社協及び医療機関との連携
- (2) 民生委員・児童委員協議会との連携

5. 広報啓発活動の報告

事業情報を広報紙、ホームページ、各種イベントで提供、啓発に努めました。

- (1) かさま社協だより51号、52号、53号の発行(ボランティアセンター記事含む)
発行部数 24,000部
- (2) ホームページやSNS、デジタルサイネージによる広報啓発及び情報提供
- (3) 広報かさま「お知らせ版」の活用(講座やイベントの案内等)

II. 地域福祉事業

6. 支部地区社協活動推進事業

小学校区、行政区、公民館を単位として支部地区社協を設置しています。

「向こう三軒両隣り」の助け合い体制づくりを推進し、それぞれの地域にあわせた福祉の向上を目指しました。

- (1) 支部地区社協との連絡調整
支部地区社協との連携・会員会費の募集
市社協・支部社協共催事業の実施と支部活動との連携

①運営委員会

実施時期	事業・会議名	事業概要(会議事項)	会 場	参加者
5. 5.25	友部地区支部社協 運営委員会	(1) 運営委員の委嘱について (2) 令和4年度事業報告について (3) 令和5年度事業について (4) その他	地域福祉センター ともべA館	18
6. 26	笠間地区支部社協 運営委員会	(1) 副運営委員の選出について (2) 令和4年度事業報告について (3) 令和5年度事業について (4) その他	社協笠間支所	11
6. 28	岩間地区社協 運営委員会	(1) 令和4年度事業報告について (2) 令和5年度事業について (3) その他	地域福祉センター いわま	7
7. 27	支部地区社協 運営連絡会	(1) 役員改選について (2) 地域づくり合同集会について (3) その他	地域福祉センター ともべA館	7
10. 30	友部地区支部社協 運営委員会	(1) 社協会員会費還元金(後期)について (2) 支部活動報告 (3) その他	地域福祉センター ともべA館	13
11. 28	岩間地区社協 運営委員会	(1) 活動助成金(後期)について (2) 地区社協情報交換について (3) その他	地域福祉センター いわま	6
11. 29	笠間地区社協 運営委員会	(1) 活動助成金(後期)について (2) その他	社協笠間支所	17
6. 1.16	支部地区社協 運営連絡会	(1) 地域づくり合同集会について (2) その他	地域福祉センター ともべA館	7

②地域福祉活動、支部社協・地区社協を理解するための学習会等

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会 場	参加者
5. 5. 25	友部地区支部 社協運営委員会	講話「私たちの防災」 講師 いばらきエコの会 岸 倫男 氏・浅野 守章 氏	地域福祉センター ともべA館	18
11. 2	東支部女性部	高齢者のための配食勉強会	地域福祉センター	16
6. 2. 1	〃	〃	ともべA館	16
11. 10	宍戸支部女性 部	高齢者のための配食勉強会	地域福祉センター ともべA館	13
11. 29	笠間地区社協 運営委員会	研修「自然災害から自身や家族の命を守る」 講師 防災士 志村謙一氏	社協笠間支所	17
6. 3. 16	地域づくり合 同集会(隔年)	活動事例報告(福原支部、松山サロンまつぼっくり 、地域コーディネーター) 講演「地域の絆、みんなの笑顔」 ～住民同士で支え合う地域づくり～ 講師 こころ元気配達人 鎌田 敏 氏	友 部 公 民 館 大ホール	150

7. 低所得者福祉

(1) 小口資金貸付事業

生活困窮者に対して、緊急的に必要とする生活費の貸付けを行い自立を支援しました。

運用状況

単位：円

項 目	合 計	件 数
①前年度繰越未償還額	1,263,200	68
②当 年 度 貸 付 額	999,000	55
③当年度貸付金償還額	585,500	45
④過年度貸付金償還額	356,500	30
⑤欠 損 処 分 額(前年度徴収不能引当金)	50,000	2
⑥未 償 還 金 計	1,270,200	70
⑦前 年 度 繰 越 金	1,323,050	
⑧通 帳 残 高(③+④+⑦-②)	1,266,050	
⑨徴 収 不 能 引 当 金(不能欠損予定額)	35,000	2
⑩次 期 貸 付 資 金 額(⑥+⑧-⑨)	2,501,250	

(2) フードバンク支給

NPO法人フードバンク茨城及びカスミフードスクエア友部店と株式会社ファミリーマートと締結を結び市内7店舗から協力を得て、経済的に困っている方へ食料品等を支給しました。また、ボランティア団体等へ呼びかけ、家庭で余分にある食料品を集める「フードドライブ」を行い、フードバンク茨城に提供することで相互連携を図っています。

①支援延世帯

笠 間	友 部	岩 間	合 計
36	106	25	167

②きずなBOX・フードドライブへ寄せられた食品等

米	1851kg
食品等	607.2kg

③カスミフードスクエア友部店から寄せられた食品

米	195kg
食品	100.9kg

④ファミリーマート7店舗から寄せられた食品

(笠間旭町店、友部インター店、笠間東平店、道の駅かさま店、笠間押辺店、笠間中央店、笠間近森店)

食品	301.2kg
----	---------

(3) ひきこもりサロン「さんぼみち」

ひきこもり状態にある方の社会参加を目的に居場所を提供し、ひきこもり状態にある方及び家族等の支援を行いました。ひきこもりサロンでは、お茶を飲みながら雑談やゲーム（トランプ、ポッチャ、かるた等）を行い、参加された方の心が少しでも軽くなるよう、ほっと一息つけるような場を提供しています。

参加延べ人数 計64名 (男性38名 女性26名)

開催月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
参加人数	5	8	6	6	5	5	6	5	6	4	4	4	64

年齢別参加実人数 計10名 (男性6名 女性4名)

年齢	30代	40代	50代	60代	70代	80代	計
男性	3	2	0	0	0	1	6
女性	1	0	2	1	0	0	4
合計	4	2	2	1	0	1	10

8. 法人後見受任事業

認知症高齢者、知的障がい者及び精神障がい者など判断能力に要支援課題が生じた者の判断能力を補うため、本会が成年後見人又は保佐人、補助人（以下「法定後見人等」という。）になることにより、成年被後見人、被保佐人、被補助人（以下「被後見人等」という。）の身上保護、財産管理を行い、その権利を擁護することを趣旨とする。

①運営委員会審査件数累計

	認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	合計
承認	1	0	0	1
不承認	0	0	1	1

②新規受任件数累計

	認知症高齢者			知的障がい者			精神障がい者			合計
類型	後見	保佐	補助	後見	保佐	補助	後見	保佐	補助	
累計	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1

③終了件数累計

	認知症高齢者			知的障がい者			精神障がい者			合計
類型	後見	保佐	補助	後見	保佐	補助	後見	保佐	補助	
累計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

④実利用者数

	認知症高齢者			知的障がい者			精神障がい者			合計
類型	後見	保佐	補助	後見	保佐	補助	後見	保佐	補助	
累計	1	0	0	1	0	0	0	0	0	2

9. 心配ごと相談所の運営報告

心配ごと相談所では、相談員が日常生活の困りごとや心配ごとの相談を受けました。

法律相談は、弁護士による相談を実施しました。

※法律相談は、最初に心配ごと相談を受けた後、専門性が高い相談内容の場合に法律相談の予約となります。

(1) 相談員及び開設日
心配ごと相談員各地区6名

	笠 間	友 部	岩 間
心配ごと相談	第2・4火曜日	第2・4水曜日	第1・3木曜日
法律相談	第3金曜日	第1金曜日	第2金曜日

(2) 相談内容及び相談件数 単位:件

相談事項	心配ごと相談				法律相談			
	笠間	友部	岩間	合計	笠間	友部	岩間	合計
生 計	1	4	0	5	0	2	1	3
年 金	0	0	0	0	0	1	0	1
職 業 ・ 生 業	0	0	0	0	0	0	0	0
住 宅	4	1	2	7	0	4	0	4
家 族	1	3	2	6	1	1	1	3
結 婚	1	0	0	1	0	0	0	0
離 婚	3	2	3	8	2	4	0	6
健 康 ・ 衛 生	1	1	0	2	0	0	0	0
医 療	0	1	0	1	0	0	0	0
精 神 ・ 衛 生	0	0	0	0	0	0	0	0
人 権 ・ 法 律	0	0	0	0	0	0	0	0
財 産	13	8	14	35	3	8	7	18
事 故	1	1	1	3	2	1	0	3
児童福祉・母子保健	0	0	0	0	0	0	0	0
教 育 ・ 青 少 年	0	0	0	0	0	0	0	0
障がい者(児)福祉	0	0	0	0	0	0	0	0
母子福祉・父子福祉	1	0	0	1	0	0	0	0
高 齢 者 福 祉	0	0	0	0	0	0	0	0
苦 情	1	1	9	11	0	0	0	0
そ の 他	14	20	26	60	9	12	9	30
合 計	41	42	57	140	17	33	18	68

(3) 研修会・ケース検討会

地 区	事業・会議名	会 場	参加延人数
笠 間	ケース検討会(6/13、10/10、2/13)	社協笠間支所	15
友 部	ケース検討会(6/19、11/20、2/19)	地域福祉センターともべA館	18
岩 間	ケース検討会(6/15、10/19、2/15)	地域福祉センターいわま	17
全地区	3支所合同研修会(1/29)	水戸地方裁判所	15

10. ボランティアセンター事業報告

ボランティア活動に関する相談、支援、登録、情報収集及び提供等を行いました。
また、講座等を開催し福祉活動への理解と参加を推進しました。

(1) ボランティアセンター事業の推進

- ・推進員2名を配置
- ・栄養士1名を配置
- ・ボランティアサークル(80サークル1,294人が活動)
- ・個人ボランティア (12人が活動)

(2) 主な会議

運営会議・代表者会議・委員会等

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会 場	参加者
5. 7. 25	茨城県中央ボランティア連絡会 第1回運営委員会	(1) 令和5年度役員の選任について (2) 令和4年度事業報告及び収入支出決算について 令和5年度事業計画及び収入支出予算(案)について (3) 情報交換	城里町常北保健福祉センター	1
10. 31	茨城県中央ボランティア連絡会 第2回運営委員会	(1) 令和5年度茨城県中央ボランティア連絡会研修交流会(案)について (2) その他(情報交換等)	城里町常北保健福祉センター	1
6. 2. 28	茨城県中央ボランティア連絡会研修交流会	グループに分かれての意見交換会	城里町常北保健福祉センター	6
3. 21	茨城県中央ボランティア連絡会 第3回運営委員会	(1) 令和5年度事業報告並びに収入支出決算について (2) 会計監査報告について (3) その他(情報交換等)	城里町常北保健福祉センター	1
5. 5. 31	笠間市ボランティア連絡協議会総会	(1) 令和4年度事業報告について (2) 令和4年度収入支出決算報告について 監査報告 (3) 令和5年度役員の改選について (4) 令和5年度事業計画(案)について (5) 令和5年度収入支出予算(案)について (6) その他 笠間市ボランティア連絡協議会研修会について ふれあい訪問事業について 茨城県中央ボランティア連絡協議会について	地域福祉センターともべA館	10
7. 12	第1回笠間市ボランティア連絡協議会役員会	(1) 研修会について (2) ふれあい訪問事業について (3) その他 義援金の徴収及び送金先について	地域福祉センターともべA館	11
8. 31	第2回笠間市ボランティア連絡協議会役員会	(1) ふれあい訪問事業について (2) 研修会について (3) その他 義援金の送金について 県中央ボランティア連絡協議会について	地域福祉センターともべA館	11
11. 14	第3回笠間市ボランティア連絡協議会役員会	(1) 研修・交流会について (2) その他	地域福祉センターともべA館	11
9. 27	第1回笠間市ボランティア連絡協議会会長会議	(1) かさま陶芸の里ハーフマラソン大会における 暖かい飲み物の提供について (2) ふれあい訪問事業について (3) その他	地域福祉センターともべA館	2
6. 3. 28	第2回笠間市ボランティア連絡協議会会長会議	(1) 令和6年度笠間市ボランティア連絡協議会総会 について (2) その他	地域福祉センターともべA館	3
11. 22	笠間市ボランティア連絡協議会交流会	「ボッチャと輪投げ大会」	笠間市民体育館	191
12. 17	笠間市ボランティア	第18回かさま陶芸の里ハーフマラソン大会	笠間芸術の森	12

	ア連絡協議会市へ 協力事業	スープサービス(味噌汁)の提供	公園	
5. 4. 10	笠間支部 第1回運営委員会	(1) サークル助成金申請について (2) 令和5年度総会について その他	社協笠間支所	13
4. 24	笠間支部監査	(1) 令和4年度 会計監査	社協笠間支所	2
5. 1	笠間支部総会	(1) 令和4年度事業報告について (2) 令和4年度収入支出決算報告について 監査報告について (3) 令和5年度事業計画(案)について (4) 令和5年度収入支出予算(案)について (5) その他	社協笠間支所	16
6. 5	笠間支部 第2回運営委員会	(1) 笠間支部事業について 研修会について 福祉バザーについて (2) 笠間市ボランティア連絡協議会事業について 研修会について ふれあい訪問事業について	社協笠間支所	14
7. 24	笠間支部 第3運営委員会	(1) 笠間市ボランティア連絡協議会研修会につい て (2) 福祉バザーについて (3) 笠間支部研修会について (4) ふれあい訪問事業について (5) 義援金について	社協笠間支所	14
9. 4	笠間支部 第4運営委員会	(1) 笠間市ボランティア連絡協議会研修会につい て (2) 福祉バザーについて (3) 笠間支部研修会について (4) ふれあい訪問事業について (5) 夏休み体験教室の報告	社協笠間支所	12
10. 16	笠間支部 第5運営委員会	(1) ボランティア連絡協議会笠間支部交流会の報 告について ・交流会の反省及び今後の課題について (2) 福祉バザーについて (3) ふれあい訪問事業について (4) 笠間市ボランティア連絡協議会研修会につい て	社協笠間支所	14
6. 2. 26	笠間支部 第6運営委員会	(1) 福祉バザーについて ・福祉バザーの反省 (2) ふれあい訪問事業について経過報告について (3) 令和6年度ボランティア登録について (4) ボランティア連絡協議会笠間支部令和6年度総 会について (5) その他 ・笠間市ボランティア連絡協議会から能登半島地 震災害義援金の報告 ・地域づくり合同集会について ・いきいき通所事業利用者に対する昼食提供の協 力依頼について ・令和6年度わくわく体験教室の協力依頼につい て	社協笠間支所	14

3. 25	笠間支部 第7運営委員会	(1) ボランティア連絡協議会笠間支部令和6年度総会の開催について (2) ボランティアサークル活動助成金・研修助成金について	社協笠間支所	14
5. 4. 26	友部支部 第1回代表者会議(総会)	(1) 令和4年度笠間市ボランティア連絡協議会友部支部事業報告及び収入支出決算について 監査報告 (2) 令和5年度笠間市ボランティア連絡協議会友部支部事業計画(案)及び収入支出予算(案)について (3) その他	地域福祉センターともべA館	36
8. 30	友部支部 第2回代表者会議	(1) ボランティア研修会について (2) ふるさとまつりinかさまについて (3) その他	地域福祉センターともべA館	34
12. 1	友部支部 第3回代表者会議	(1) ふるさとまつりinかさま バザー報告等 (2) ボランティア大集合報告 (3) その他	地域福祉センターともべA館	36
5. 4. 21	岩間支部総会	(1) 令和4年度事業報告について (2) 令和4年度決算報告について 監査報告について (3) 令和5年度事業計画(案)について (4) 令和5年度予算(案)について (5) 役員改選について	地域福祉センターいわま	23
5. 4. 21	岩間支部 第1回委員会	(1) 令和5年度研修交流会(ミニ講座)について (2) 岩間支部研修会について (3) 福祉バザーについて (4) ボランティア活動サークル助成金及び研修助成金について (5) 夏休みわくわく体験実施に伴う協力依頼について	地域福祉センターいわま	23
9. 27	岩間支部 第2回委員会	(1) 福祉バザーの開催について (2) 市ボラ連交流会について (3) わくわく体験教室 感想について (4) ふれあい訪問事業の協力について (5) 地域交流センターあたと社協2階調理室清掃について (6) 保菌検査の実施について	地域福祉センターいわま	19
6. 1. 17	岩間支部 第3回委員会	(1) ミニ講座について (2) 福祉バザーについて (3) 市ボラ連交流会について (4) 岩間支部交流会について (5) 岩間支部総会について (6) 令和6年度ボランティア登録について	地域福祉センターいわま	21

(3) 福祉育成事業

「子どもの時から福祉の芽を」をモットーに学校や地域で福祉体験学習や講演会等を行い、福祉の心を育てました。

①児童・生徒の福祉講座
夏休みわくわく体験教室

地区	開催日	内 容	参加延人数	協力延人数
笠間	5. 7. 26 ～8. 4	スクエアステップ・工作A・工作B・ゴキちゃんコロリ・パステル和みアート・手話	39	21
友部	5. 7. 23 ～8. 10	竹細工の水鉄砲・切り絵・貝殻水族館・手打ちそば・防災訓練・はり絵・点字・ジャムづくり・手づくりフクロウづくり・手話	169	103
岩間	5. 7. 21 ～8. 9	体操と物づくり・手打ちそば・手話・スクエアステップ・ミニかごづくり・点字・ボッチャ体験・ピザづくり	74	42
合 計			282	166

②福祉川柳集発行

児童・生徒、また住民の福祉への理解が深められることを目的として、福祉に関わることをテーマにした川柳を児童・生徒から募集し川柳集として発行します。

応募・掲載者数（全体1,169人）

	応募・掲載者数
小学生の部	475
中学生の部	694

川柳集文集配布先

（各小中学校・市役所・公民館・図書館・金融機関・保育園・幼稚園・こども園など）

③各種教室の開催

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会 場	参加者
8. 19	仕事とお金のお話	生活するために必要なことを親子で一緒に考える	地域福祉センターともべA館	児童10 保護者10
8. 2 8. 10 8. 17	キッズ読み聞かせ教室（3回教室）	声を出して読むことで、理解が深まることを実感し、伝えることの大切さや楽しさを学ぶ	地域福祉センターともべA館	9 7 6
8. 28	チャレンジボランティアスクール	災害時や災害後の自衛隊員の救援活動と役に立つロープワークを学ぶ	地域福祉センターともべA館	12
9. 11 9. 25 10. 2	女性の食事学講座（3回講座）	食材と身体の関係について学ぶ	地域福祉センターともべA館	15 16 14
6. 2. 19	傾聴ボランティア養成講座	相手の話に耳を傾けること、気持ちに寄り添い受け止めることなどを学ぶ	地域福祉センターともべA館	34

④市民対象の福祉講座

ボランティア活動育成のための学習会

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会 場	参加者
5. 6. 15 7. 20 8. 24 9. 21 10. 19 11. 16 12. 21 6. 1. 11 2. 15 3. 14	読み聞かせ講座（全10回）	正しい発声や、元気に声を出すための講座	地域福祉センターともべA館	20 17 15 16 15 16 16 17 16 14
5. 6. 6 6. 13	第一火曜日の会（全3回）	布ぞうり作り（全2回）	地域福祉センターいわま	20

9. 19		介護保険サービスについて	地域福祉センター ともべA館	18
12. 19		まゆ玉で干支飾り(辰)作り	地域福祉センター ともべA館	16
5. 4. 26 5. 31 6. 28 7. 26 8. 30 9. 27 10. 25 11. 22 12. 20 1. 26 2. 28 3. 27	デジタルボランティア アフォローアップ事業	令和4年度デジタルボランティア養成講座 の受講生が、サークル立ち上げを目標 に、地域に出向き活動ができるように、 スマートフォンの使い方など、勉強会を 実施する。	地域福祉センター ともべA館	15 15 13 13 12 12 13 13 13 13 12 12
8. 23	幼児安全法講習	日赤の包括ケアと一緒に、幼児向けの AED、気道異物除去、熱中症予防、対策	地域福祉センター ともべA館	18
12. 26	避難所生活でわが子 を守るはじめの一步 セミナー	避難所生活の備え 知って役立つ技術	地域福祉センター ともべA館	5
6. 1. 30	避難所生活支援講習	避難所生活で役に立つ 災害時の知識や支援技術について学ぶ	地域福祉センター ともべA館	41
3. 3	大人のチャレンジ教 室	防災に役立つキャンプ技術を学び、防災 の意識の向上を図り、茨城県災害ボラン ティアへ登録を推進する。	北山公園キャンプ 場	12
3. 6 3. 13	子育てママパパ応援 講座（全2回）	就学に必要な手提げ袋、シューズ入れづ くりをボランティアが指導	地域福祉センター いわま	6 4
6. 1. 22 1. 29 2. 5	レクリエーション講 座（全3回）	1. 煎茶の淹れ方講座 2. バルーンアート講座 3. ボッチャ講座 高齢者や障がい者が利用する施設や地域 サロンなどに出向き、利用者が交流を深 めるきっかけづくりとなる役割を担うボ ランティアを育成する	地域福祉センター ともべA館	16 24 6

11. 共同募金配分事業報告

(1) 配食サービス事業の実施

75歳以上のひとり暮らし高齢者を対象に、食事づくりが困難な方に食生活を支援し、心のふれあい活動を行いました。

地区	活動回数	利用者延人数	ボラ延人数
笠間	42	2,535	952
友部	61	1,969	1,264
岩間	44	1,525	461

(2) ボランティアにおける在宅サービス活動

地区	活動ボランティア	活動回数	利用者延人数	ボラ延人数
笠間	電話訪問(ふれあい電話)	38	48	44
友部	電話訪問(ふれあい電話)	164	458	183
	声の広報(むぎぶえの会)	12	34	72
	点 訳(三 六 の 会)	46	36	369
	傾聴ひまわり	0	0	0
岩間	電話訪問(ふれあい電話)	21	206	24
	点字 (点字の会まごころ)	29	0	72
	傾聴すずらん	0	0	0

※点字まごころ(岩間)第4火曜日の活動は、点訳三六の会(友部)と合同で活動しました。

(3) 児童・生徒のボランティア活動普及事業の推進

①市教育委員会・家庭教育学級との連携

②事業協力費の助成 36ヶ所(幼稚園・保育園・こども園16, 小中学校17, 高校3) 760,000円

③ボランティア普及事業協力校指定に伴う担当者会議の開催

実施時期	事業・会議名	事業概要(会議事項)	会 場	参加者
5. 6. 19	協力校担当者会議 (幼稚園, 保育園, こども園, 小学校, 中学校, 高校担当者)	1. ボランティア活動普及事業協力校事業報告について 2. ボランティア活動普及事業協力校助成金について 3. 社協事業計画について	地域福祉センターともべA館	33

④先生方の福祉研修会の実施

実施時期	事業・会議名	事業概要(会議事項)	会 場	参加者
5. 8. 21	「笠間市児童・生徒のボランティア活動普及事業」先生方の研修会	アイマスク体験、車いす体験、高齢者疑似体験	地域福祉センターともべA館	16

⑤学校依頼による福祉体験学習

地区	学校名	内 容	回数	参加延人数	協力延人数
笠間	稲田中	車いす・アイマスク・高齢者疑似体験・手話・点字・講話など	1	56	18
	笠間小		1	324	96
友部	友部小		1	104	11
	友部二小		3	276	30
	友部二中		1	111	9
	大原小		2	131	17
岩間	岩間三小		1	30	8
合 計			10	1,032	189

⑥赤い羽根共同募金ポスター募集

市内の小中学生を対象に赤い羽根共同募金に関するポスターを募集しました。赤い羽根共同募金の推進スローガンである『じぶんの町を良くするしくみ。』をテーマに、募金を使って「この町にあったら良いな!」と想うことを描いてもらいました。

作品数	小学生の部	177作品
	中学生の部	42作品
ポスター展示	10月18日～10月26日	ボレポレシティ(イオン笠間店)
	11月14日～11月24日	友部図書館
	12月13日～12月20日	市民センターいわま(笠間市役所 岩間支所)
ポスター集の発行	315部(各小中学校・市役所・公民館・図書館などに配付)	

(4) 高齢者・障がい者福祉

①訪問カットサービス

寝たきりの高齢者や障がい者への理容、美容の訪問サービスを行いました。(1人4回まで)

	対象人数	延回数	協力事業所
合計	47	127	18

②年忘れ配食

配食サービスを利用しているひとり暮らし高齢者に、ボランティアによる手作りのお弁当を届けました。

	合計
配布数	193

③ひとり暮らし高齢者ふれあい訪問事業

75歳以上のひとり暮らし高齢者を訪問し、見守りと心のふれあいを図るため配布しました。

(ボランティア手作り手差し・市内小学校からのメッセージカード)

	合計
配布数	1,623

④団体助成

民児協(笠間地区、岩間地区)・遺族連合会・更生保護女性会・在宅介護者の会等に助成しました。

助成数	合計
10団体	829,500

(5) 広報活動

ボランティアセンターだよりの発行(社協だよりに記事掲載)

(6) 生活困窮者世帯への生活機器貸出事業

生活が困窮し生活機器が不足している世帯へ生活機器を貸出し、自立した生活を送れるよう支援しました。

貸出品	合計
ガスコンロ・電気ケトル・冷蔵庫・洗濯機・電子レンジ・電気炊飯器・扇風機等	13

※この事業は、茨城県共同募金会地域福祉特別助成を活用しました。

(7) 遺児養育手当

市に住所を有し、かつ、居住する、父母または父か母と死別した義務教育修了前の児童・生徒を、家庭において養育している方に、遺児1人につき月額2,000円を支給しました。

世帯数	人 数	共同募金配分金より	寄付金より (三共金属工業所)
23 (うち新規5世帯)	30 (うち新規8人)	654,000	90,000

(8) 新入学児童祝金

市内に住所を有し、居住するひとり親世帯(母子・父子)で小学校及び中学校の新入学児童・生徒の保護者に、小学校新入学児童1人につき5,000円を支給しました。

世帯数	人 数	共同募金配分金より	寄付金より (三共金属工業所)
66	66	330,000	198,000

※(7)(8)につきましては、(有)三共金属工業所から寄付があり、3,000円上乗せしました。

(9) 歳末援護金

市民税が非課税世帯の方に、明るく新年を迎えられるよう配分しました。

(配分金額: 1人世帯5,000円、2人以上世帯7,000円)

事 業	配分金額	世 帯
援護金(ひとり暮らし高齢者)	2,647,000	529
〃 (高齢者世帯)	280,000	40
〃 (要介護4・5の世帯)	14,000	2
〃 (母子世帯)	294,000	42
〃 (父子世帯)	7,000	1
〃 (身体障がい児・者世帯)	119,000	19
〃 (知的障がい児・者世帯)	28,000	4

〃 (精神障がい児・者世帯)	14,000	2
〃 (生活困窮者世帯)	327,000	53
〃 (準要保護世帯)	0	0
振込手数料・郵送料・消耗品	364,833	
合 計	4,094,833	692

(10) 子育て支援フードパントリー事業

フードパントリーとは、食の支援を必要としている方へ食料品等を無料で提供する活動です。

現在の物価高騰により、生活に影響を受けている「ひとり親世帯等」の日常生活を支援するため、お米5kg・食品（インスタント味噌汁、レトルト食品3種、うどん（乾麺）、もち、ふりかけ）を配布。併せて岩間ライオンズクラブより寄付された寄付金（10万円）で、BOXティッシュを配布しました。

	合 計
支給世帯	174世帯

※この事業は、茨城県共同募金会「地域共生社会づくり特別助成」を活用しました。

12. 善意銀行の運営報告

皆さまから善意の金品をお預かりし、地域福祉活動や福祉団体へ助成するなど、福祉の充実に向けて大切に活用させていただきました。

(1) 善意銀行

①金銭預託の部

単位：円

	金 額	件数	内 訳
前年度繰越	20,907,337		
預 託 金	1,879,743	43	
合 計	22,787,080		
払 出	2,409,300	18	・法人運営事業へ繰出 4件 ・地域福祉事業へ繰出 11件 ・ふれあいサポート事業へ繰出 2件 ・共同募金事業へ繰出 1件
残 金	20,377,780		

②物品預託の部

○使用済み切手、未使用切手等

○福祉用品(オムツ等)

○生活用品類（米、野菜、タオル、マスク等）

○その他（エコキャップ、ボッチャシート、文房具セット等）

③物品払い出しの部

市内福祉施設、茨城県社協、ボランティア連絡協議会各支部へ払い出しました。

(2) 福祉機器などの貸出しサービス

車いす、松葉杖、インスタントシニア、点字版、ポップコーン機、綿あめ機、かき氷機、着ぐるみ、福祉車輛（燃料代実費負担）を貸し出しました。

13. 福祉バス利用状況報告

福祉バスの管理・運営

福祉バス利用状況報告

月	利 用 団 体 数					利用延人員
	社協			行政	合計	
	事業	支部地区	ボランティア			
4月			1		1	30
5月						
6月	1	1			2	46
7月	2			1	3	75
8月						
9月						
10月				1	1	31
合計	3	1	1	2	7	182

※令和5年10月中旬から令和6年3月31日まで、福祉バス修理につき運行を停止しました。

III. 受託事業

14. 地域ケアシステム推進事業

高齢者や障がい者などが、住みなれた地域で安心して暮らせるように地域住民、医療、保健、福祉の関係者でチームをつくり日常生活を支援しました。

(1) 在宅ケアチーム等の現況

区 分	相談件数（延）	クイック調整会議開催数	チーム数
介護保険給付対象者	471	11	251
ひとり暮らし高齢者	435	1	173
その他要援護高齢者	164	1	29
身体障がい者	14	1	4
知的障がい者	429	10	12
精神障がい者	535	17	19
難病患者他	35	2	2
子育て親等	11	0	0
終末期患者	2	0	0
DV被害者	4	0	0
ひきこもり	23	0	0
その他	92	0	1
合 計	2,215	43	491

(2) 地域包括ケアシステムネットワーク

地域包括支援センターを中心として、関係機関（医療・保健・福祉）、協力機関、地域住民等との連携による「笠間市地域包括ケアシステムネットワーク」を構築し、見守り体制の強化を図りました。

特に、複数の要支援者を抱える世帯（ファミリーケア）に対しては、対象者を限定せずに関わることができる地域ケアの役割は大きく、今後ファミリーケアのニーズは増加すると予測されます。

また、地域ケアコーディネーターが高齢者や障がい者世帯等に対し、救急搬送時に活用するための情報を収集した、救急医療情報キットを設置しました。

・モニタリング件数 計 414件

(3) 高齢者の実態把握調査

85歳以上のひとり暮らし高齢者やサービス未利用者等を訪問し、身体状況や日常生活等の把握や各サービス案内を行いました。

・訪問件数 計 197件

(4) 会 議

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会 場	参加者
5. 6. 26	地域包括ケアシステムネットワーク代表者会議	前年度検討内容の報告、地域課題検討会からの協議事項など	地域医療センター	1
6. 2. 5				1
5. 6. 22	地域包括支援センター運営協議会, 地域密着型サービス運営委員会	地域包括支援センターの事業報告及び収支決算・計画及び収支予算、地域密着型サービス事業者の利用状況実地指導など	地域医療センター	1
6. 2. 15				1
5. 7. 3	認知症ワーキング	認知症施策について	地域医療センター	1
6. 2. 26			かさま 行政棟	2
5. 6. 8	地域包括ケア会議	講話や事例検討(見える事例検討) など	笠間公民館	3
5. 7. 13			地域交流センター いわま	3
5.10.12			地域医療センター かさま行政棟	3
5.11. 9			笠間公民館	3
6. 2. 8			地域交流センター いわま	3
6. 3. 14			地域医療センター かさま 行政棟	3
5. 5. 23	地域包括ケア会議(個別)	個別ケース検討など	地域医療センター	1
5. 9. 13		個別ケース事例提供		1
6. 1. 26		個別ケース検討		1
5. 6. 21	こころの医療連携会議	講和・懇談（ケース相談）	市役所本庁	1
5.11.15				1
5. 8. 24	子育て世代包括支援連絡協議会	困難事例について支援の方向性を検討し、関係機関で連携(個別ケース検討会)	保健センター	1
5.11.30				1
6. 2. 8				1
毎月 第2木曜	定期報告会	在宅ケアチーム一覧のモニタリング、介護保険サービス未利用者実態調査の報告及び近況の情報交換や今後の対応の検討	社協各支所	毎回3
5. 4. 5	ひきこもり事業アウトリーチ打ち合わせ会議	ケース検討	WEB	1
5. 7. 31	認知症サポーター養成講座講師	認知症を理解し、認知症の人や家族を見守る認知症サポーターを増やし、安心して暮らす町づくりを目指す。	県立笠間高等学校	1
5. 8. 29	高齢者等の日常生活に関する意見交換	いばらきコープ生活協同組合・行政・社会福祉協議会における日常生活上のニーズや相互の要望などについて意見交換行う。	市役所本庁	1
5.9.27	介護支援専門員と相談支援専門員との意見交換会	顔の見える関係を深め、異なる制度の理解を図る機会にする。	地域医療センター 介護予防室	1
6. 2. 21	地域課題検討会	地域課題を関係機関で協議する。	市役所本庁	1

(5) 研修会

実施時期	研修名	主催	会 場	参加者
5.11. 8	高齢者に多いトラブル	茨城県消費生活センター	WEB	1
5.11.14	高齢者のインターネットトラブル	茨城県消費生活センター	WEB	2
5. 8. 18 ～6.2.6	障害者相談支援従事者研修(初任者研修)	茨城県 委託先 茨城県心身障害者福祉協会	WEB 演習 実習	1

15. 生活福祉資金貸付事業

低所得世帯、高齢者世帯、障がい者世帯に対し、安定した生活が送れるよう、生活資金の貸付けを行い自立を支援しました。

※県社会福祉協議会の審査があります。

単位：円

資金項目	現貸付件数	滞納件数	貸付者数	全体額
総合支援資金	30	27	0	14,273,296
福祉・教育・小口	44	36	0	56,085,512
離職者支援・要保護不動産担保	2	1	0	9,562,354
合計	76	64	0	79,921,162

16. フォローアップ支援事業

コロナ特例貸付の償還が令和5年1月から開始され、償還免除の承認を受けた方や償還が困難な方など、本貸付が自立の阻害とならないよう継続的に支援しました。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
自立相談支援機関へつなぐ	0	0	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0	3
償還免除申請書への記載援助	0	0	2	3	2	0	0	0	0	0	0	0	7
償還免除未申請者へ償還免除を案内	0	2	6	7	2	0	0	1	0	0	0	0	18
県社協へ少額返済の相談	0	0	0	0	2	2	3	0	2	0	1	1	11
償還猶予相談	0	6	8	7	3	4	1	1	0	2	0	0	32
その他（生活状況把握・住所変更届等）	0	33	115	142	170	129	132	178	78	125	124	101	1,327
												活動実件数	1,398
												世帯数	286

特例貸付債権数	世帯数	償還免除債権数	償還完了債権数	償還猶予債権数
1,329	574	401	24	20

17. 生活困窮者自立相談支援事業

経済的に困窮している方に対し、相談支援員と一緒に課題を整理しながら自立プランを立て、自立に向けた解決策を図るお手伝いをします。この制度は、生活保護に至る前の生活困窮者に対し、自立相談支援等を実施することで、「自立の促進」を図ることを目的としています。自立相談支援事業及び家計改善支援事業を笠間市より受託し、生活に困っている方が抱える様々な問題・悩みに対応し、自立した生活を営めるように相談及び支援を行いました。

①新規相談者数 計21名

年齢	20代	30代	40代	50代	60代	70代	計
男性	2	0	3	3	3	0	11
女性	3	2	2	1	2	0	10
合計	5	2	5	4	5	0	21

②支援件数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規者	実人数	1	2	2	1	1	1	2	2	3	3	1	2	21
	支援延件数	4	6	8	16	18	10	12	12	9	9	6	12	122
	就労支援延件数	0	2	1	1	2	0	2	0	7	5	5	10	35

継続者	実人数													227
	支援延件数	7	13	11	11	16	8	22	9	0	4	6	17	124
	就労支援延件数	4	2	7	4	0	5	2	0	0	0	6	2	32

③就労者数 計10名

年齢	20代	30代	40代	50代	60代	70代	計
男性	1	1	1	2	2	0	7
女性	1	0	0	1	1	0	3
合計	2	1	1	3	3	0	10

就労先：一般企業等（モノタロウ、県中HP、サニー包装、介護施設、県庁関連、サンエツ工業、日鉄建材、トンボ東京物流センター、フジシール、ガススタンド）

④住居確保給付金 計4名

年齢	20代	30代	40代	50代	60代	70代	計
男性	0	0	0	2	0	0	2
女性	1	0	0	1	0	0	2
合計	1	0	0	3	0	0	4

⑤家計改善支援事業 計4名

年齢	20代	30代	40代	50代	60代	70代	計
男性	0	0	0	0	0	0	0
女性	2	1	1	0	0	0	4
合計	2	1	1	0	0	0	4

18. 日常生活自立支援事業

認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者などで、判断能力が不十分な方を対象に、福祉サービスの利用手続きや金銭管理をして、暮らしの“あんしん”をお手伝いする制度です。

笠間市社会福祉協議会が基幹的社協として専門員を配置し、相談援助及び利用契約締結した対象者に対して16名の生活支援員が金銭管理等の支援を行いました。

(1) 相談援助件数累計（問い合わせ・相談援助件数）

内 容		本事業の利用に関するもの				合計
事 項	対象者	認知症高齢者等	知的障がい者等	精神障がい者等	不明・その他	
a. 問い合わせ件数 (制度、事業について)		5	2	6	4	17
b. 初回相談件数 (初回相談受付)		2	0	1	0	3
c. 相談援助件数 (a. b以外)		400	420	1,099	41	1,960
合 計		407	422	1,106	45	1,980

(2) 契約締結件数累計

対象者		認知症高齢者等	知的障がい者等	精神障がい者等	その他	合計 (内生活保護者)
事 項						
契 約 者 数		2	0	2	0	4(2)
契約時 自宅外 (内訳)	施設	0	0	0	0	0
	病院	0	0	0	0	0
	グループホーム	0	0	0	0	0

(3) 終了件数累計

対象者 事 項	認知症高齢者等	知的障がい者等	精神障がい者等	その他	合計
累 計	6	0	4	0	10

(4) 対象者別利用者数 計57 (笠間8 友部42 岩間7)

対象者 事 項	認知症高齢者等	知的障がい者等	精神障がい者等	その他	合計
実 利 用 人 数	18	17	19	3	57

19. 在宅福祉サービスセンター事業

日常生活に不安を感じている高齢者や障がい者、子育て支援を必要としている方を対象に、地域で安心して生活ができるように、住民の参加と協力による会員制の有償サービスを提供しました。

サービス内容

- ・家事支援：食事づくり・買い物・清掃・洗濯など
- ・移送サービス：専用車両での通院時の送迎
- ・子育てサポート：乳幼児の預かり保育など

①事業研修

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	開催地	参加者
5. 4. 29	講習会	移送サービス運転者認定講習会	笠間市	3
4. 30	講習会	移送サービス運転者認定講習会	笠間市	3
10. 19	セミナー	シルバー・ドライバーセミナー	那珂市	5

②活動状況

サービス内容	利用延回数	利用延時間	協力延会員
家事支援サービス	757	872.5	757
移送サービス	1,244	1,419.5	1,244
子育てサポート	87	211.5	87
合 計	2,088	2,503.5	2,088

③会員数

	笠 間	友 部	岩 間	合 計
協力会員	17	51	7	75
利用会員	71	162	39	272
賛助会員				26

20. 養育支援訪問事業

養育支援が特に必要であると判断した家庭に対し、より積極的な支援として、助産師・保育士・子育て経験者・ヘルパー等の訪問による支援を実施することにより、当該家庭の適切な養育環境が確保されることを目的とする。

①活動状況

サービス内容	利用延回数	利用延時間	協力延会員	内 容
家事支援サービス	134	139	134	食事づくり・買い物・清掃・洗濯など
移送サービス	3	3	3	移送
子育てサービス	133	134	133	子育て
合 計	270	276	270	

2 1. 在宅重度身体障害者訪問入浴サービス事業

看護師や介護員が利用者の居宅を訪問し、利用者の身体の清潔保持、心身機能の維持向上を図るため、浴槽を搬入して入浴サービスを提供するものです。令和4年度まで1名（実員）の利用がありましたが、65歳となり介護保険サービスへ移行したため、令和5年度実績はありませんでした。

- ・市内に在住の重度身体障がい者及び難病疾患で、当該障がいにより入浴が困難な方が対象
- ・利用者は1回当たり1,250円負担

利用延人数	利用延回数
0	0

2 2. 移動支援事業

利用者が社会生活上必要不可欠な外出及び、余暇活動等の社会参加のための外出の際にヘルパーを派遣し、安全に移動できるように支援しました。

- ・屋外での移動に困難がある障がい者・障がい児及び医師により発達に障がいがあると診断された方が対象
- ・利用者はサービスに係る費用の1割負担

利用延人数	利用延時間
12	96

2 3. 手話奉仕員養成講座

手話で日常会話を行うのに必要な手話表現技術を習得した手話奉仕員を養成し、聴覚障がい者等が自立した日常生活及び社会生活を営むことができるサポートや交流活動への「きっかけ」につなげています。

講座終了後はサークル化を目指し、ボランティアの増加を図っています。

利用延人数	回数
308	20

※2月6日は降雪のため講座は中止とし、代替え日として3月12日に実施しました。

IV. 指定管理業務

2 4. 地域福祉センター事業の経営

(1) 地域福祉センターともべA館・B館

①延べ利用者数及び利用団体数

名 称	利用延人数	団 体 数	名 称	利用延人数	団 体 数
ボランティア	8,435	672	社 協	1,769	325
支 部 社 協	2,520	151	就労継続B型	3,021	239
団 体	1,258	90	いきいき通所	2,630	193
区	368	26			
行 政	12,091	881	合 計	32,092	2,577

②A館部屋使用回数及び稼働率（開館日は、年末年始を除く毎日）

開館日数：359日

部 屋	使用回数	稼働率(%)	部 屋	使用回数	稼働率(%)
研 修 室 1	318	88.58	点 字 手 話 室	191	53.20
研 修 室 2	226	62.95	録 音 室 ・ 前 室	29	8.08
和 室 1	226	62.95	いきいき通所	195	54.32
和 室 2	185	51.53	ミーティングルーム	72	20.06
相 談 室	235	65.46			
調 理 室	183	50.97	合 計	1,860	

③B会館部屋使用回数及び稼働率（開館日は、土・日曜日及び祝日、年末年始を除く毎日）

開館日数：242日

部 屋	使用回数	稼働率(%)	部 屋	使用回数	稼働率(%)
就労継続B型	237	97.93	和 室	224	92.56
支 援 室	232	95.87	eスポーツ室	232	95.87
多 目 的 室	280	115.70	職 員 室		
調 理 室	52	21.49	合 計	1,257	

(2) 地域福祉センターいわま

①利用延人数及び利用団体数

名 称	利用延人数	団 体 数	名 称	利用延人数	団 体 数
ボランティア	3,196	245	社 協	452	104
支 部 社 協	18	2	就労継続B型	1,687	239
団 体	53	4	いきいき通所	2,686	193
区	0	0			
行 政	13,166	58	合 計	21,258	845

②部屋使用回数及び稼働率（開館日は、土・日曜日及び祝日、年末年始を除く毎日）

開館日数：242日

部 屋	使用回数	稼働率(%)	部 屋	使用回数	稼働率(%)
図 書 室	7	2.89	ロ ビ ー	19	7.85
集 会 室	174	71.90	栄 養 実 習 室	40	16.53
相 談 室	87	35.95	健 康 教 育 室	52	21.49
和 室	18	7.44	就労継続B型	239	98.76
検 察 室1・2	40	16.53	いきいき通所	202	83.47
指 導 室	37	15.29			
ボランティア室	71	29.34	合 計	986	

V. 障害者就労継続支援B型事業

25. 障害者就労継続支援B型事業

在宅の心身障がい者が通所により、日常生活に必要な社会訓練や作業訓練を行い、生活への適応と生きがいを高めるサービスを提供しました。

名 称		たけのこ					あおぞら				
利 用 者 数		14					9				
内 訳	療 育 手 帳 級 別	㊤	A	B	C	計	㊤	A	B	C	計
		1	7	4	0	12	0	2	*4	1	7
	身体障害者手帳級別	1級	2級	3級	4級	計	1級	2級	3級	4級	計
		0	0	1	0	1	0	0	0	*1	1
	精神障害者保健福祉手帳・その他	1					2				
開 所 日 数		237					239				
入 所 者		0					0				
退 所 者		1					0				
内 容		週5日（月曜日～金曜日） 午前9時30分～午後3時30分 作業支援を中心に、各種事業及びレクリエーションの実施、社会参加									

*療育・身体障害者手帳両保持者有

VI. 介護予防・日常生活支援総合事業

26. 通所型サービス「いきいき通所事業」

ひとり暮らしや外出する機会が少ない高齢者を対象に、日常生活の孤独感解消や自立した生活を促進し、高齢者の生きがいづくりと介護予防を支援することを目的として、専門性及び身体介護を伴わない通所型サービスを提供しました。

	笠 間	友 部	岩 間
利用延人数	1,928	2,630	2,662
開 催 日	水から金曜日	火から金曜日	火から金曜日
実 施 日 数	144	193	193
開 催 場 所	地域交流センター はこだ、稲田、みなみ	地域福祉センター ともべA館	地域福祉センター いわま
主なサービス	・送迎・健康チェック・健康体操・趣味活動・食事・レクリエーション		

※笠間地区は令和5年度より、大橋・箱田地区を統合し笠間市地域交流センター「はこだ」にて開催。

※令和6年2月6日(火)は、降雪により中止となりました。

・3地区指導員ミーティング及び研修会

実施内容のベースアップを図るため、毎月3地区指導員のミーティングを実施したほか、専門職による介護予防体操や転倒予防法を学び、指導員の介護予防技術の向上を図るため、研修を実施しました。

開催日	内 容	場 所	参加者
毎月第2月曜日	地区での行事予定確認、レクリエーションの共有	社協本所及び支所	72
5. 7. 10	運動機能を向上して転倒予防 講師：介護老人福祉施設シルバービレッジ 理学療法士 磯部 紀仁 氏	地域福祉センター ともべ A 館ミーティ ングルーム	11
6. 1. 26	茨城県介護予防担当者研修会	オンライン開催	2
3. 11	「感染対策は手指消毒からはじまる」 講師：丸石製薬株式会社	地域福祉センターいわま いきいきルーム	6

・指導員レクリエーション研修会

レクリエーションの基礎やコツを学び、サービスの質向上を図るため、外部研修に参加しました。

開催日	内 容	場 所	参加者
7. 7	レクリエーション基礎研修会 講師：C o C o L a 代表 小久保 信幸 氏	茨城県青少年会館	2

27. 訪問型サービス「ふれあいサポート事業」

要支援者及び介護予防対象者に対し、身体介護を含まない生活支援を行い安心して日常生活を過ごすことができるよう支援しました。

①活動内容

清掃・調理・買い物代行・ゴミ出し

②ふれあいサポート利用延人数

	笠 間	友 部	岩 間	合 計
45-60分	108	578	96	782
45分未満	131	38	92	261

28. 生活支援体制整備事業

単身や夫婦のみの高齢者世帯等が増加する中、医療・介護の専門的なサービスのみではなく、生活支援サービスを担う多様な事業主体と連携しながら、日常生活上の支援体制の充実・強化及び高齢者の社会参加の推進を一体的に図りました。

①地域への働きかけ

実施時期	内 容	会 場	参加者
5. 9. 7	全地区 生活支援体制整備事業パンフレット配布		

②助け合い活動立ち上げへの支援

実施時期	地 区	内 容	会場	参加者
6. 1. 9	笠間	協議体立上げについて生涯学習課と情報共有	地域福祉センターともべA館	7

③第2層協議体の開催

実施時期	内 容	会 場	参加者
5. 6. 27	岩間地区第2層協議体「和気あいあいの会」	地域福祉センターいわま	21
9. 26	・地域交流に活用するためのボッチャ体験会を実施		14
12. 12	・岩間地区における移動販売について、地域住民の認知		15
6. 3. 19	度の確認、情報共有を行う ・NPO法人友部コモンズとの情報交換		16
5. 5. 30	宍戸小学校区第2層協議体「3日前の会」	地域福祉センターともべA館	18
8. 29	・宍戸地区(旧陣屋・松山団地)における移動販売につい		20
11. 28	て、どうしたら使いやすくなるかの検討・共有		17
6. 2. 27	・NPO法人友部コモンズとの情報交換		17
5. 5. 22	箱田地区第2層協議体「友びきの会」	地域交流センターはこだ	19
8. 21	・自分たちの地域の社会資源について話し合い		19
11. 24	・社会資源を巡る街歩きのコース設定		16
6. 2. 16			18
5. 6. 30	東支部圏域第2層協議体「東風の会」	地域福祉センターともべA館	13
10. 6	・自分たちの地域の社会資源について話し合い		10
6. 1. 19	・社会資源を地図に落とし込む		13
7. 20	大池田圏域第2層協議体「大池田の会」	地域交流センター大橋	13
10. 31	・これからの話し合いの場について		13
6. 1. 29	・㈱アドバンフォースとの情報交換		17
6. 2. 28	中央支部圏域第2層協議体 ・話し合いを始めるための勉強会 講師：笠間の森カウンセリングルーム 永原 信彦氏	地域福祉センターともべA館	17

④意見交換会（高齢福祉課・地域包括支援センター・社協）

実施時期	内 容	会 場	参加者
毎月第3火曜日	情報共有、進捗状況の確認、課題検討	地域福祉センターともべA館	5
6. 2. 20	市商工課と移動販売についての意見交換	地域福祉センターともべA館	7
3. 21			7

⑤コミュニティサロンへの支援

随時訪問し実施状況の確認、運営者との情報共有や相談等に対応しました。市内25団体

地区	サ ロ ン 名	開催日	会 場	訪問数	相談等 支援
笠間	サロンいけのべ	毎月第3月曜日	地域交流センター池野辺	3	4
	青葉の会（20区）	毎月第3月曜日	20区児童公民館	3	2
	サロンぐうちよきば(15-1区)	毎月第3金曜日	代表者自宅	2	2
	ふれあいサロン来栖	毎月第4土曜日	地域交流センターくるす	1	5
	大町元気会	毎月第3水曜日	かさま歴史交流館井筒屋	1	2
	健幸カフェ	毎月第4火曜日	稲田公民館	3	4
	大郷戸サロン	毎月第1金曜日	大郷戸集落センター	2	4
	サロンもとど	毎月第2・4月曜日	地域交流センターもとど	2	4

	サロンわらくの会	毎月第4木曜日	地域交流センターはこだ	2	5
	福ふくサロン（新規）	毎月第1金曜日	関戸コミュニティセンター	2	10
友部	松山サロンまつぼっくり	毎月第1水曜日	松山団地集会所	2	8
	館古宿サロン	毎月第1・3金曜日	館古宿公民館	3	5
	ふれあいサロン兎	毎月第2木曜日	長兎路区構造改善センター	2	6
	ふれあいサロンなごみ	毎月第2木曜日	旭崎新農村集落センター	3	10
	当の越サロン	毎月第2金曜日	地域交流センターともべ	2	5
	小泉サロン	毎月最終木曜日	南小泉新農村集落センター	1	10
	しらゆりサロン	毎週木曜日	代表者敷地内ﾌﾟﾚﾊﾞ	1	0
	陣屋カフェ	毎月第2火曜日、第4土曜日	旧陣屋コミュニティセンター	2	5
	サロンde五平	毎月第2月曜日	五平公民館	2	5
	サロン悠遊（新規）	毎月第4土曜日	柿橋団地公民館	3	10
岩間	女子会なごみ	毎月第2・4月曜日	日吉町東公民館	2	5
	コスモス	毎月第1・3月曜日	吉岡住宅公民館	0	0
	吉岡二区ふれあいサロンあゆみ	毎月第1火曜日	吉岡二区自治会コミュニティセンター	2	5
	談話処春水	毎月第4水曜日	北根公民館	2	6
	サロンはしば	毎月第1土曜日	北根公民館	2	8

・コロナ禍のサロン活動支援として、新規立ち上げサロンに非接触型体温計、除菌シートを配布しました。

⑥新規サロンへの支援

地区・サロン名	支援内容	開所日・実施	訪問数	相談支援
サロン福ふく(笠間)	・立ち上げ後の相談やメニューの案内等	R5.4月開設 毎月第1金曜日	2	10
旭台(友部)	・立ち上げ後の相談やメニューの案内等	未定	2	12
柿橋団地 サロン悠遊(友部)	・立ち上げ後の相談やメニューの案内等	R5.10月開設 毎月第4土曜日	3	10
柿橋 ちゃお(友部)	・立ち上げ後の情報交換	R5.1月開設	1	3
滝川(友部)	・立ち上げ後の相談やメニューの案内等	未定	0	2

⑦その他

実施時期	内 容	会 場	参加者
5. 9. 15	コミュニティサロン運営者交流会	地域福祉センターともべA館	32
11. 22	ひたちなか市大島地区協議体(大島コミセン地区地域づくりの会)と第1東宝ランドとの情報交換会	岩間公民館	22
6. 1. 12	介護予防・生活支援に資する地域づくりと他分野連携に関するアンケート調査(高齢福祉課回答)についてのヒアリング調査への参加	オンライン	7
2. 28	稲田小・中学校運営協議会へ参加	稲田中学校	2

⑧研修関係

実施時期	内 容	会 場	参加者
5. 7. 4	生活支援体制整備事業基礎研修会	Zoomによるオンライン研修	6
9. 12	生活支援体制整備事業生活支援コーディネーター連絡会議	Zoomによるオンライン研修	5
12. 21	生活支援体制整備事業現任担当者向け研修会	セキショウ・ウェルビーイング福祉会館	2

Ⅶ. 介護保険事業・障がい福祉サービス事業

介護保険サービス、障がい福祉サービス提供による収入で介護保険事業所を運営しています。

29. 居宅介護支援事業

ケアマネジャーが介護に関する相談を受け、心身の状況や置かれている環境に応じた介護サービスを利用するためのケアプランを作成し、そのプランに基づいて適切なサービスが提供されるよう、事業者や関係機関との連絡・調整を行いました。

	介護度別利用実人数								
	事業対象	支1	支2	介1	介2	介3	介4	介5	合計
4月	6	15	36	122	122	92	43	12	448
5月	6	16	35	117	120	98	45	13	450
6月	6	16	35	118	120	91	44	15	445
7月	6	17	37	117	119	93	40	16	445
8月	6	15	37	111	123	94	38	16	440
9月	6	19	35	113	121	100	35	14	443
10月	5	20	34	118	116	93	35	19	440
11月	5	20	36	119	118	91	35	20	444
12月	4	22	36	120	115	91	32	19	439
1月	4	22	38	118	115	81	34	19	431
2月	5	20	41	120	113	77	26	19	421
3月	6	17	40	114	117	80	25	19	418
計	65	219	440	1,407	1,419	1,081	432	201	5,264
前年度	88	152	477	1,598	1,583	990	470	211	5,569

30. 訪問介護事業

訪問介護員（ホームヘルパー）が自宅を訪問し、食事・排泄・入浴などの介護（身体介護）や、掃除・洗濯・買い物・調理などの生活の支援（生活援助）を行いました。

	介護度別利用実人数									訪問回数	訪問時間
	事業対象	支1	支2	介1	介2	介3	介4	介5	合計		
4月	4	18	25	42	27	18	6	6	146	1,078	1,026
5月	3	19	27	39	27	19	9	7	150	1,178	1,126
6月	3	20	27	38	27	16	7	7	145	1,204	1,155
7月	4	21	27	35	26	17	5	6	141	1,119	1,050
8月	4	22	26	34	28	18	4	6	142	1,144	1,062
9月	4	22	27	31	27	18	6	5	140	1,067	988
10月	3	22	28	30	26	17	5	5	136	1,099	1,005
11月	3	23	28	31	24	15	6	6	136	1,087	997
12月	3	23	27	30	25	15	6	5	134	1,058	978
1月	3	22	28	31	23	13	6	4	130	1,003	938
2月	3	22	29	34	23	12	5	3	131	1,030	969
3月	4	21	30	37	23	13	5	3	136	1,059	1,020
計	41	255	329	412	306	191	70	63	1,667	13,126	12,314
前年度	59	187	343	523	376	156	105	56	1,805	14,569	13,946

３１．訪問入浴介護事業

看護職員と介護職員が自宅を訪問し、利用者の身体の清潔保持、心身機能の維持回復、生活機能の向上を目指し、持参した浴槽を使って入浴介護のサービスを提供しました。

	介護度別利用実人数							訪問回数
	支2	介1	介2	介3	介4	介5	合計	
4月	0	0	2	3	6	7	18	79
5月	0	0	4	3	6	9	22	112
6月	0	0	1	4	8	8	21	92
7月	0	0	3	1	4	8	16	76
8月	0	0	3	1	6	7	17	90
9月	0	0	2	2	5	8	17	87
10月	0	0	3	1	4	7	15	81
11月	0	0	3	2	5	7	17	84
12月	0	0	2	4	5	7	18	77
1月	0	0	2	2	8	7	19	81
2月	0	0	1	3	3	7	14	70
3月	0	0	1	2	4	7	14	65
計	0	0	27	28	64	89	208	994
前年度	1	10	38	43	39	77	208	950
	(重度入浴利用者)						12	99

３２．居宅介護事業（ホームヘルプ事業）

訪問介護員が障がいのある方へ、入浴、排せつ及び食事等の介護サービスや調理、掃除等の家事サービスを提供しました。

	利用実人数	訪問回数	訪問時間
4月	33	234	321
5月	31	251	333
6月	30	269	333
7月	31	243	315
8月	30	238	307
9月	30	228	298
10月	31	234	303
11月	32	231	300
12月	31	213	270
1月	31	214	280
2月	32	229	297
3月	33	241	315
合計	375	2,825	3,672
前年度	400	3,081	4,014